

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FC3	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	21
科目コード	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)： 宮原祐紀子	共同担当者： 門井緑 松本一代
-----------------	-----------------

教育目標・レベル設定など

- ・各課題作品の制作を通してアパレル生産プロセス（企画・設計・生産）を学ばせる
- ・作品、パターンメイキング、縫製技術を高めるとともにデザイン、素材、ファッショントレンドなども取り入れ総合的に修得させる
- ・立体裁断と平面裁断を併用したパターン技術の習得をさせる
- ・3年間で学んだ理論と実技の集大成として作品を研究創作させ、卒業制作ショーで発表する

<授業概要>

服装造形 論 III A・III B	4単位	(000231) (000232)
服装造形 デザイン III A・III B	2単位	(000331) (000332)
服装造形 パターンメイキング III A・III B	4単位	(000531) (000532)
服装造形 ソーイング III A・III B	4単位	(000631) (000632)
服装造形 ドレーピング II A・II B	4単位	(000821) (000822)
服装造形 工業用パターンメイキング II A・II B	3単位	(000921) (000922)
1 皮革作品 50コマ	デザイン・パターン・実物制作・ショー	
2 スーツ 50コマ	デザイン・パターン・実物制作	
3 グレーディング 8コマ	ジャケット・パンツ	
4 量産コート 12コマ	デザイン・パターン・トワール制作（グループ制作）	
5 コート・毛皮 48コマ	デザイン・パターン・部分縫い・実物制作	
7 高級素材作品 7コマ	デザイン・パターン・部分縫い・実物制作	
8 学内コンテスト技術部門課題制作 42コマ	トワール作品制作	
9 モードコピー 16コマ	トワール制作	
10 ドレーピング 59コマ	原型・袖のバリエーション・3面ジャケット・4面ジャケット・コート・ドレープ（使用ボディ：工業用ボディ・文化ボディ）ドレス原型展開	

評価方法・対象・比重

- ・服装造形 論・・・筆記試験（100%）
- ・デザイン、パターンメイキング、ソーイング・・・制作物（課題90%、授業態度10%）
- ・ドレーピング・・・提出物、実技試験（試験60%、課題30%、授業態度10%）
- ・工業用パターンメイキング・・・（課題90%、授業態度10%）
- ・専攻科卒業研究・創作・・・制作物（100%）

主要教材図書	服飾造形講座 応用編 I・II コート・ケープ（高級素材）（特殊素材） アパレル生産講座 工業パターンメイキング
参考図書	ファッションブック
その他資料	プリント（デザイン・作図）

授業の特徴と担当教員紹介

各自実物製作課題を通してパターンメイキング能力や縫製技術の向上を図る。

服装造形専任教授 専任講師 ファッション教育振興協会パターンメイキング検定委員 企業パターンナー経験者

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	2 単位
科目コード	005720	科目名	量産技術実習Ⅱ	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：加藤 紀人	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

量産体制のグループでの実習を通し、アパレルにおける組織的な生産のプロセスと、分業による効率的な作業について理解を深めることを目標とする。

メーカー側の製品企画・工場側の製造企画に始まり、重衣料の生産活動を通して「モノ」「情報」の流れを掴み、所定の品質を実現するための手法や、原価、納期までに完成させるための計画について考える。

【授業計画】

＜実習製作物 … ウール コート＞

I. ガイダンス …（1）

- ①実習の内容・目的の説明
- ②作成する帳票類、ゲージの説明
- ③班毎に役割分担

II. サンプル裁断 …（1）

- ①先上げサンプル作成のための裁断
- ②芯貼り
- ③ゲージ作成

III. サンプル縫製 …（5）

- ①サンプル縫製を通じ、仕様、工程を確認
- ②作業標準書作成

IV. 生産指示書作成 …（3）

- ①作業標準書作成、各種書類清書
- ②ゲージ作成

V. 裁断・芯貼り …（2）

VI. ミーティング …（1）

VII. 本生産 ※分業による …（12）

VIII. 検品、反省会 …（1）

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 30%、 授業姿勢 70%

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 帳票サンプル

授業の特徴と担当教員紹介

工業用の機器を使用し、均一な品質のコートを生産する。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード	401000	科目名	生産システム論	授業期間	前期

担当教員(代表)：加藤 紀人	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレルメーカーから生産工場までの全体の流れを捉え、生産活動に必要な事柄について学ぶことを目標とする。
企画から製造にいたるプロセスで様々な個々の技術が全体の目的に貢献できるよう、工程・方法・時間・人などが関連性を持ちながら、生産効率の向上が図れる仕組みづくりを掴む。また「量産技術実習Ⅱ」につながる情報の基盤づくりをする。

【授業計画】

- I. ガイダンス (1コマ)
- II. 生産用パターン (2コマ)
 - ①仕様・機器に対応した変更
 - ②表地、裏地、芯地、ゲージ類について
- III. アパレル商品企画 (2コマ)
 - ①品質レベルの設定
 - ②品質のつくり込み(作業標準書)
- IV. 生産計画 (5コマ)
 - ①日程計画(タイムテーブル、標準時間の算出)
 - ②人員計画(作業割り当て)
 - ③ライン計画(工程編成)
 - ④材料計画(日程、数量、コスト、品質)
- V. アパレル製品と原価 (1コマ)
 - ①原価の三要素(材料費、労務費、経費)のあらし
 - ②損益分岐点と目標利益
 - ③目標生産量の算出
- VI. 品質管理 (2コマ)
 - ①製造中の検査方法(検査箇所)
 - ②製造後の検査方法(外観検査)
 - ③PL法対策

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価(60%)＋授業姿勢(20%)

主要教材図書

「文化ファッション大系 アパレル生産講座⑦ アパレル生産管理」「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料 私製プリント

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル生産のシステムについて学ぶ。 文化服装学院 専任講師が担当。

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科名	服飾専攻科 技術専攻	単位	2 単位
科目コード		科目名	CADパターンメイキングⅠ	授業期間	通年

担当教員(代表)：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル業界の企画【設計】において必須であるCADシステムを利用し、基本を学びながら考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作が出来るようになる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション	演習	1	応用パターン・マーキング コート	演習	3
基本操作	演習	1	グレーディング	演習	1
基礎パターン・ダーツ操作	演習	2	実技試験対策	演習	1
基礎パターン・スカート製図	演習	2	実技試験	演習	1
基礎パターン・パンツ製図	演習	2			
基礎パターン・製品図パンツ	演習	1			
基礎パターン・スキャナー	演習	2			
基礎パターン・トレース	演習	1			
基礎パターン・ファーストパターン	演習	2			
基礎パターン・製品図ジャケット	演習	1			
応用パターン・衿	演習	1			
応用パターン・コート	演習	2			
応用パターン・シャツ展開	演習	1			
応用パターン・ジャケット2枚袖	演習	2			
応用パターン・カットソー	演習	1			

【評価方法】S～C・F評価

評価基準：学業評価 50% 授業姿勢 50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルの現場で学んできた事と日々変化しているアパレル業界情報を取り入れながら授業を進めています。基礎をしっかりと学び応用パターンメイキングにスムーズに進めていける様に取り組んでいます。

記載者氏名 高津由規子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	技術専攻	単 位	1～2単位
科目コード		科目名	制作実習g・h（自由選択）	授業期間	通 年

担当教員(代表)：宮原祐紀子	共同担当者：門井緑・松本一代
----------------	----------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を旨とする

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

製作物は専攻科のレベルに相当するもの以上とし、担任の点検を受けた製作物に限り単位を付与する

製作物1体が1単位を基準とするが、作品の難易度も考慮し単位数を決める

単位付与の条件・レベルを統一するため、全クラス担任による採点会を実施する

【評価方法】

製作物の体数・難易度を考慮するため採点会を行う（P評価）

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

制作条件がなく自由にデザイン発想した作品を製作する事により、課題以外の経験・知識が得られる
コンテストの作品も課題と振替えてなく、単位を付与する事によりモチベーションの向上に繋がる

記載者氏名 宮原祐紀子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科技術専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1 コマ) . . . 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1 コマ) . . . 講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (5 コマ) . . . 講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7 コマ) . . . 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	帽子Ⅱ	授業期間	前期（A週）

担当教員（代表）：窪田 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定）

- ・ 帽子の一般知識を習得する。夏物帽体・冬物帽体の2作品を製作する。
- ・ 専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を学ぶ。
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ。

I 講義 帽子の基礎知識 [2コマ]

- ・ 帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

II 実物製作 2作品

(1) 夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・ 夏物帽体による実物製作
- ・ 木型など専門用具の使用法、型入れによる帽体の形づくりを指導
- ・ トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

(2) 冬物帽体（フェルト帽体）の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・ 帽子用のフェルト帽体（ファーフェルト）による実物製作
- ・ 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・ スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導
- ・ トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

各帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

帽子のスタイリング考察課題

評価方法・対象・比重

S～C・F評価、 評価基準：作品・提出物80%、授業姿勢20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書 The HAT magazine 等

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2024年度		カリキュラム科目概要		文化服装学院教務部	
科コード 科目コード	科名 科目名	技術専攻 ファッションデザイン画Ⅲ	単位 授業期間	単位 1 半期	
担当教員(代表)： 水野雅己		共同担当者：			
【授業概要、到達目標・レベル設定】 デザイン画に求められる技術・知識の要素をカリキュラムに配分し課題ごとに構成。 学生が自らのアイディアを具体的に表現できる実力を育成する。					
【授業計画】 前期1～6 (14コマ) 1. オリエンテーション 年間授業内容の説明、学習意欲を持たせる ----- 1コマ 2. 人物表現（様々なポーズの描き方） ----- 1コマ 3. 縫製技法からのデザイン展開 ----- 4コマ 4. デザインの原則 ----- 4コマ ・ 黄金分割からのファッションデザイン ・ シンメトリー・アシンメトリー デザイン論を基に形の左右対称、非対称を理解しファッションデザインに展開 6. マイコレクション ----- 4コマ 興味のある分野を独自の世界観にデザイン展開しまとめる能力を磨く					
【評価方法】 提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度					
授業の特徴と担当教員紹介		卒業学年の授業として学生の就職活動をサポートできる課題を設定。学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。			
主要教材図書					
参考図書					
その他資料		Fashion Drawing Basic			
記載者氏名		水野雅己			

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク	授業期間	前期（14 コマ）

担当教員（代表）：中村 浩	共同担当者：
---------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>グラフィック系ソフトの操作技術をレベルアップさせ、アパレルデザインや各種プロモーションツールの制作等、実戦に活かせるスキルを身につける。</p>
--

【授業計画】PCを使ったグラフィックデータの作成 Adobe Photoshop illustrator 全 14 回		
テーマ	方法	コマ数
Photoshop の応用 パターン、変形機能、モックアップ合成	講義・演習	2
Photoshop の応用 デザイン画活用	講義・演習	2
illustrator ペンツール描画 基礎・応用	講義・演習	2
illustrator を使った製品図制作	講義・演習	2
illustrator ペンツール描画 基礎・応用	講義・演習	2
illustrator Photoshop デザイン企画ボードの作成	講義・演習	6

<p>【評価方法】</p> <p>S～C・F評価 出席・提出物70% 授業姿勢30%</p>
--

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>中村 浩 / 武蔵野美術大学卒 百貨店販促宣伝部を経て、グラフィックデザイン、WEB デザインを中心に活動</p>
--

記載者氏名 中村 浩

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FC3	科 名 技術専攻（選択）1.2.3 組	単 位 1 単位
科目コード	科目名 テキスタイル産業論	授業期間 後期

担当教員（代表）：佐藤奈央	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 ■教育目標 テキスタイルの構造や生産について実習を通して一連の流れを理解してもらう。工場への依頼方法を説明し、実際に指示書を作成し企業でも独立しても使える知識を学ぶ。素材の原産国や国内産地について説明しテキスタイルの知識を深めてもらう。
--

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
テキスタイル産業について	実習・講義	1
テキスタイルの生産方法	実習・講義	1
・テキスタイルのプリント方法について		
・インクジェットプリントのデザイン	実習・講義	1
・インクジェットプリントの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・シルクスクリーンプリントのデザイン	実習・講義	1
・シルクスクリーンプリントの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・織物の種類・素材や糸について	実習・講義	1
・平織・綾織・朱子の織物三原組織を使ったデザイン	実習・講義	1
・三原組織の工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・ジャカード織りのデザイン	実習・講義	1
・ジャカード織りの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
テキスタイルの種類とその産地（国内）について	実習・講義	2
各素材の原産国について	実習・講義	1

【評価方法】 授業内のレポート提出

主要教材図書 アパレル素材論
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 【授業の特徴】 デザインなどの実習をメインにテキスタイルの構造や生産方法を理解する 【担当教員】 繊維企業でテキスタイルデザイナー、MDとして14年勤務。2021年に独立しニットブランドをスタート。 企業でのテキスタイル企画、デザイン、生産を伝えられるよう努めます。

記載者氏名 佐藤奈央

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード 301100	科目名 アクセサリーⅡ（自由選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイディア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 2. アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 3. アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて 4. アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて 5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ 6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 7. シルバー粘土リング制作実習 作品について仕上げ・説明

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当講師の紹介</p> <p>フリーイラストレーター、コスチュームアクセサリー作家として幅広く活動しつつ、文化服装学院にてアートアクセサリー／イラストレーションの講師をつとめる。</p> <p>世界各国のアクセサリー資料の紹介、いろいろなアクセサリー素材、道具類の説明を含め、デザインの幅を広げ、ファッションとコーディネート提案ができるような授業内容</p>
--

記載者書名欄 中川 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FC3	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1単位
科目コード	科目名 アパレル染色演習Ⅰ（自由選択）	授業期間	後期
担当教員（代表）：板橋 美紗子		共同担当者：	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。
理論・技法・工程など実技を通し習得する。時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト

- | | | |
|-----------------------|---------|---------|
| 1. ガイダンス | (0.5コマ) | (講義) |
| ・ 授業内容について | | |
| 2. 酸性染料による原毛染色 | (1.5コマ) | (講義・実習) |
| ・ 酸性染料の特徴 | | |
| ・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | | |
| 3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作 | (2コマ) | (講義・実習) |
| ・ 羊毛の縮絨性 | | |
| ・ 羊毛のフェルト制作方法 | | |
| 4. 直接染料による絞り染め | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・ 直接染料の特徴 | | |
| ・ 絞り染めによる防染の仕組み | | |
| ・ 絞り技法と染色法 | | |
| 5. 顔料樹脂染料による型紙捺染 | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・ 型紙捺染の仕組みと捺染の種類と版式 | | |
| ・ 型紙制作、印捺、仕上げ方法 | | |
| ・ 顔料プリントと特殊プリント加工との比較 | | |
| 6. 乾式熱転写プリント | (2コマ) | (講義・実習) |
| ・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み | | |
| ・ 手描き図案による転写方法 | | |

評価方法・対象・比重

S～C・F評価（学業評価 70%、授業姿勢 30%）

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を実習する

担当教員紹介 板橋 美紗子：明星大学日本文学部生活芸術学科テキスタイル専攻卒業 文化服装学院非常勤講師

記載者氏名 板橋 美紗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード	科目名 3DCAD	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

PatternMagic II の基本操作を理解し、オリジナルの着せ付けや、デジタルトワルの見方、修正を身に着ける。
Clo Enterprise の操作方法の基礎を理解し、各仕様に合わせた設定方法や、3DCG として出力する際の調整方法を身に着ける。

【授業計画】

使用ソフト：東レ ACS 株式会社 CREACOMPO II

Glo Enterprise

adobe (Illustrator)

I. ガイダンス (1 コマ)

- ① 授業内容の説明

II. PatternMagic II 3D (4 コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
シャツ、スカート、パンツ、セットアップの着せ付け
- ③ 着せ付け後の機能
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け

III. Clo Enterprise (9 コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
- ③ デザイン、仕様に合わせた設定
シャツ、パンツ、プリントTシャツ、ファスナーアイテム、プリーツ・タックデザインの着せ付け
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け
- ⑥ レンダリング設定と出力
レンダリングの基本設定、背景の設定、照明の追加と設定

【評価方法】

各回のデータ+平常点30%

オリジナル作品70%

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD に関連するソフトウェアの使用法と 3DCAD データ作成の基礎を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム

文化服装学院

文化服装学院教務部

科コード FC3	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード 947300	科目名 コラボレーションc	授業期間	通年

担当教員(代表)： 宮原祐紀子	共同担当者： 門井緑 松本一代
-----------------	-----------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部企業、団体等とのコラボレーションにより社会人としてのキャリアアップを図る。 ・ 知識、技術、プレゼンテーション力、マナーの向上につなげる。 ・ ボランティア精神を養う。 ・ 成果を発表する。
--

<p><授業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育効果の上がるコラボレーションに参加する。
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>P 評価</p> <p>出席状況</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FC3	科 名	技術専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	インターンシップb(自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表)：宮原祐紀子	共同担当者：門井緑 松本一代
----------------	----------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、業界・業態・職業自体の理解を深めることを目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

同一の実習先で実働 35 時間実習することを原則として、条件を満たした場合に単位を付与する

- ① 実習先は学生が自己開拓した企業とする
- ② 希望者は所定の手続きに従い、実施日の 14 日前までに担任に申請書を提出する
- ③ 授業時間中の実習は認めない
- ④ 賃金が支払われる場合は対象外とする(交通費実費あるいは少額の食事補助は除く)
- ⑤ 実習修了後、実習学生は 14 日以内にインターンシップレポートを提出する

※本人→実習先→本人→就職支援室→担任

【評価方法】

研修日時・内容・研修先のサインが記入されたインターンレポートを提出する(P評価)

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

インターンシップを経験する事で仕事の流れや実務を理解し就職活動に対する意識向上と自主性を育む

記載者氏名 宮原祐紀子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	2
科目コード	980030	科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：宮原祐紀子	共同担当者：門井緑 松本一代
----------------	----------------

教育目標・レベル設定など

- ・服飾関連の幅広い分野から専門家による講義とテクニックの技法示範を受講し、各自の知識を広げ技術を向上させる
- ・職業としての職域を意識する動機づけすることで、内定へと促進する

1、皮革の一般知識(村松 弘康 氏) 皮革の名称と特徴	講義・・・・・・・・1コマ
2、皮革作品制作における縫製技術(本多 裕介 氏) 皮革業界の概要と製品企画・製造	講義・・・・・・・・1コマ
3、キャリア支援(森 薫子 氏) 就職対策講座	講義・・・・・・・・1コマ
4、メンズパターンの設計(岩井 一仁 氏) メンズジャケットのパターンテクニックと毛芯縫製	講義・示範・・・2コマ
5、就職実践対策(山田 恭子 氏) ユニフォームウェアを通し職種の幅を広げる	講義・・・・・・・・2コマ
6、アパレルメーカーに於ける パターンメーカーの役割(伊藤 智之 氏) パターン操作と実技指導 企業でのパターンメーカーの仕事について アイロン操作によるくせとり、立体感の出し方を示範説明、二枚袖の考え方	講義・示範・・・4コマ
7、クリエイターを目指すために(日爪 ノブキ 氏) クリエイターを目指すために	講義・・・・・・・・1コマ
8、アパレルの人と人をつなぐ仕事(木島 広 氏) アパレル製品の企画製造から販売をつなぐサービス	講義・・・・・・・・1コマ
9、工業ニット(田才 由美子 氏) ニット機器の操作法、Tシャツ製作	講義・実習・・・5コマ
10、ファッション情報(青木 規子 氏) トレンド情報・パリ・ミラノ・東京	講義・・・・・・・・1コマ
11、立体裁断による身頃つづきの袖(樋口 吉徳 氏) 立体と平面の併用パターンテクニック	講義・示範・・・2コマ
12、毛皮の一般知識(梨本 チエ子 氏) 毛皮の種類、良否の見分け方など豊富な原毛に触れ、作品制作の導入とする 毛皮のくせとり、縫製テクニックを示範説明	講義・示範・・・2コマ
13、グッズの基礎知識(菊池 明子 氏) グッズの基礎知識	講義・示範・・・2コマ
14、未定	

15、未定

16、ファッション情報（青木 規子 氏）
トレンド情報・パリ・ミラノ・東京

講義・・・・・・・・・・1コマ

評価方法・対象・比重

出席状況（100%）

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション記者 企業婦人服パタンナー メンズパタンナー モデリスト スポーツウエア企画
その他各分野でのスペシャリスト

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	FC3	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	5
科目コード	971000	科目名	専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：	宮原 祐紀子	共同担当者：	門井緑 松本一代
-----------	--------	--------	----------

教育目標・レベル設定など

- ・3年間で学んだ理論と技術の集大成としての作品を研究創作させる
- ・実物製作を通して研究する力を養い、卒業制作ショーで発表する

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

■卒業制作【実物製作】講義・示範・実習・・・75コマ

- ・既習の理論と技術（ドレーピング、パターンメイキング、縫製法）を駆使し、専攻科として集大成となる作品を研究・創作
- ・企画、演出、照明、音効、舞台、会場等の役割を分担し、卒業制作ショーに構成して発表

デザイン・・・・各自発想のデザイン（技術専攻科に相応しい）でアイテムは自由

素 材・・・・自由とするが、技術専攻科に相応しい布地

縫 製・・・・各自のデザイン、布地に合わせた縫製法

※各自のデザインで1体以上を実物製作する。

評価方法・対象・比重

実物作品（実物製作のデザイン、パターンメイキング、縫製、）・・・制作物（100%）

主要教材図書 文化ファッション体系 服飾造形講座 応用編Ⅰ・Ⅱ

参考図書 ファッションブック

その他資料 プリント（デザイン・作図）

授業の特徴と担当教員紹介

専攻科としての集大成としてショーを意識したデザインで制作する。

服飾造形専任教授 専任講師 ファッション教育振興協会パターンメイキング検定委員 企業パターンナー経験者

記載者書名欄 宮原 祐紀子